

# 市報 なめがた

Namegata City Public Relations

2011

4

Apr

No.68

## Contents

災害復旧支援	P02
お知らせワイド版 (障害年金加算改善法・地デジ臨時相談会 ほか)	P05
市の話題・トピックス (空の市・行方市読書をすすめる集い ほか)	P07
情報ひろば	P10
子育て・包括支援	P12
健康づくり	P13
アントラース・地産を食べてよう	P14
図書館情報・ヘルシークッキング	P15
復旧に向けて	P16

# 行方市でも震度6弱 —東日本大震災—

今回の、東日本大震災で被災された皆様、謹んでお見舞い申し上げます。また、尊い命を落とされた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

行方市におきましても甚大な被害を受け、災害救助法の適用を受けております。被害内容は、死者2名、重傷者1名、軽傷者4名、家屋につきましましては、全壊21棟、半壊84棟、一部損壊3、328棟を確認しています。その他、地すべり、地割れや液状化現象があり、道路関係では、238カ所の損壊、上下水道・学校・庁舎等の公共施設についても、かなりの被害を受けました。

次に、これまでの応急対策の状況についてご報告します。

市が設置した避難場所などに最大で590名の方が避難されました。

地震発生時は、市民の皆様の安全確保を重点的に行い、ライフラインの順次復旧をできる限り対応したところであり、水道・下水道についても完全復旧に向けて全力をあげて取り組んでいるところがあります。家屋等に被害を受けた市民の方に対しましては、住むところの確保や跡片付けの対応をしなければなりません。ライフラインの補修につきましても早急な対応を続けていきます。本格的な復旧には、相当な期間を要するものと判断しておりますので、ご不便をおかけしますがご理解をお願い申し上げます。

この間、自衛隊による人的支援をはじめ、北九州市水道局や広島市水道局から給水車による給水支援をいただいたほか、災害時における相互応援に関する協定に基づきまして、西東京市か

ら物資提供を受けました。また、市内事業所などから多くの物資提供を受けました。



皆様方に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

次に、震災で被害を出した東京電力福島第1原発の影響につきまして、茨城県産のホウレンソウやカキナ、パセリ、原乳から暫定基準値を超える放射性物質が検出された問題であります。政府から原子力災害対策特別措置法に基づいて、これらの品目の出荷を控えるよう指示されたほか、他の茨城県産野菜についても風評被害の影響により、消費者などから敬遠され、農家の皆様にとりましては収入の大幅ダウンは避けられないものとなっております。4月2日に鹿行地域の被災状況の視察に訪れた、民主党岡田克也幹事長に対し、補償対策や速やかな出荷制限の解除などを要望しました。

また、水道水についても放射性物質の影響が危惧されますが、県や市のこれまでの調査により、規制値を下回っておりますので安心して使用してください。

皆様にはご不便をおかけすることと思いますが、今後は、生活再建支援などの相談業務に全庁をあげて取り組んでいきます。

がんばろう日本、がんばろう行方

行方市長 伊藤孝一